授業科目名・形態	介護の基本Ⅲ　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	今野　修	実務経験の有無	有	開講期	１年後期
科目ナンバリング	W3-1010c				

【授業の主題】

本科目は、介護福祉の基本となる理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習を目的にしています。また、介護の基本としてＩＣＦの利用と介護とリハビリテーションの関係について学習していきます。さらに、医療職と協働しながらリハビリテーションを行っていくための基本的知識の習得や実践方法を学んでいきます。

【到達目標】

1）ＩＣＦの構造を把握し、人間の生活機能と各因子との相互作用について理解できる。

2）ＩＣＦの視点に基づくアセスメントやエンパワメント等の観点から、個々の状態に応じた自立を支援するための環境整備や介護予防等を理解することができる。

3）リハビリテーションと介護の基本的な考え方を踏まえ、高齢者に多い疾患の障害の評価の方法を理解することができる。

【授業計画・内容】

第 1 回　はじめに，自立とは
第 2 回　自立支援とは　～意思決定支援について～
第 3 回　自立支援の方法(1)　～ＩＣＦとは～
第 4 回　自立支援の方法(2)　～事例を通してＩＣＦを考える～
第 5 回　自立支援の方法(3)　～様々な概念や方法について～
第 6 回　リハビリテーションと介護
第 7 回　リハビリテーションにおける障害の評価
第 8 回　代表的疾患の障害評価とそのリハビリテーション
第 9 回　リハビリテーション介護の実際(1)　～関節可動域訓練，筋力増強訓練，歩行訓練～
第 10 回　リハビリテーション介護の実際(2)　～口腔ケア，摂食・嚥下訓練，呼吸リハビリテーション～
第 11 回　リハビリテーション介護の実際(3)　～音楽療法，アロマセラピー，タクティールケア～
第 12 回　介護予防の概要
第 13 回　介護予防の実際(1)　～転倒・転落予防対策～
第 14 回　介護予防の実際(2)　～認知症予防対策，尿失禁予防対策，低栄養予防対策，パーキンソン体操，高齢者レクリエーション～
第 15 回　介護予防時代における介護福祉士の役割　～福祉コミュニティーの確立に向けて～

【授業実施方法】

基本は講義形式で行います。また、第 1 回～第 5 回では課題を提示してデスカッションをしてもらい、その後発表してもらいます。そして、グループ学習による協働的学びを求めたいと考えております。

【事前・事後学習】

講義内容を踏まえ，予習および復習を毎回 30 分以上行うこと。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、高齢者福祉論、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、認知症ケア論Ⅰ、医学概論

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座　介護の基本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ　第 2 版　中央法規出版.

【参考文献】

障害者福祉研究会，編：ICF　国際生活機能分類－国際障害分類改訂版－、中央法規出版

【成績評価方法】

筆記試験 80%、課題レポート提出物 10%、演習への取り組み等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院等で、主に脳血管疾患患者のリハビリテーション看護の経験を積んできました。その経験を生かして、看護師と連携して福祉職がリハビリテーションを行っていくことの重要性をお伝えしたいと思います

【学生へのメッセージ】

介護と ICF およびリハビリテーションとの関係を理解し、これらが人間の回復と幸せに寄与していくことを学んでいってください。